

神奈川県皮膚科医会 第174回例会

皮膚疾患は多彩であり、その診断には幅広い知識が必要になります。また、皮膚科を診療する医師としての臨床眼を養うには、目の前にある皮疹を皮膚病理組織学的に理解して診察をすることが重要です。今回、病理検体を提出する際の正しい病理診断依頼書の書き方や病理診断報告書の解釈の仕方、さらに日常診療に役立つ皮膚病理診断について、日本皮膚病理組織学会前理事長 安斎眞一先生をお招きしてご講演を賜りたいと思います。皮膚科医以外に病理組織診断が出来る医師は少なく、多くの診療科の医師は病理医に任せきりというのが現状です。自分自身で顕微鏡を眺め、治療方針を考えるという、皮膚科医にとって重要な病理診断技術を学び、我々の診療に生かしていきたいと思います。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

日時：令和 7 年 3 月 2 日 (日)

例会 14時00分より

情報交換会 17時00分より

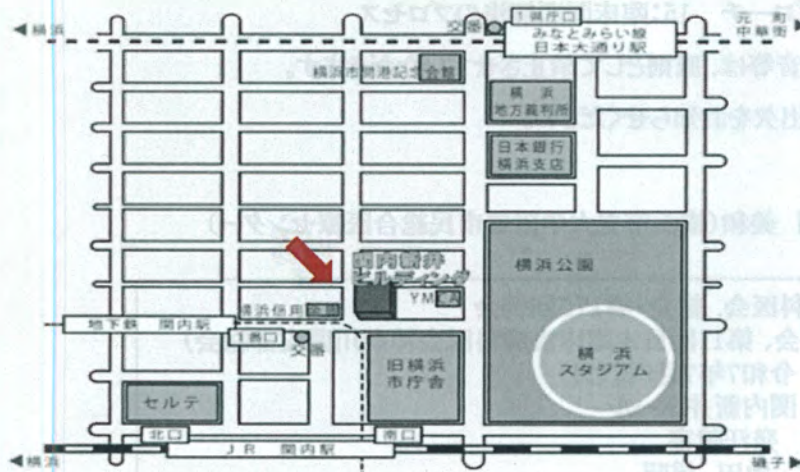
会場：関内新井ホール

横浜市中区尾上町1-8 関内新井ビル11階

TEL 045-681-6763

形式：現地開催 ※会場参加のみ (WEBはありません)

医会事務費：3000円 (会員でない方も参加可能です)



【アクセス】

(電車でお越しの方)

- ・JR京浜東北/根岸線「関内駅・南口」より徒歩3分
- ・横浜市営地下鉄「関内駅・1番出口」より徒歩2分
- ・みなとみらい線「日本大通駅・1県庁口」より徒歩7分

(お車でお越しの方)

- ・公共駐車場をご利用ください

第174回例会プログラム

テーマ：皮膚病理

14:00 開会

医会報告

健保コーナー Q&A

14:30 教育講演「アドラーザで変える！アトピー性皮膚炎治療の未来～

アドラーザの特徴と使い方～」

茂木 精一郎（群馬大学大学院医科学系研究科皮膚科学 教授）

座長 内田 敬久（横浜市）

15:30 コーヒーブレイク

15:50 イントロダクション 金岡 美和（横浜市立大学附属市民総合医療センター）

15:55 特別講演「炎症性皮膚疾患における病理組織検査の限界

一病理ですべてがわかるわけではない」

安齋 真一（PCL Japan）

座長 金岡 美和（横浜市立大学附属市民総合医療センター）

17:00 情報交換会

※ 日本医師会「生涯教育講座参加証」2単位は受付でお受け取りください。

今回の取得カリキュラムコード 5:心理社会的アプローチ 15:臨床問題解決のプロセス

※ 講演会場におきまして、写真撮影・ビデオ撮影・録音等は、原則として禁止させていただきます。

※ 準備の都合がございますので、同封のハガキにて出欠をお知らせください。

※ 託児室のご用意はありません。

担当幹事 金岡 美和（横浜市立大学附属市民総合医療センター）

次回例会予定

神奈川県皮膚科医会 総会・第175回例会

（第171回横浜市皮膚科医会例会、第11回日本臨床皮膚科医会神奈川県支部総会）

日 時：令和7年7月6日（日）

会 場：関内新井ホール

テーマ：発汗障害

担当幹事：池田 信昭

共 催：横浜市皮膚科医会

日本臨床皮膚科医会神奈川県支部／科研製薬株式会社